



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社アイレックス 上場取引所 東
 コード番号 6944 URL <http://www.airex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 譲治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 千葉 繁樹 (TEL) 03 (3419) 5111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,598	0.7	△41	—	△38	—	△27	—
29年3月期第2四半期	1,587	8.0	67	—	70	—	74	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △12百万円(—%) 29年3月期第2四半期 73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△0.95	—
29年3月期第2四半期	2.54	1.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,989	882	44.4
29年3月期	1,899	894	47.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 882百万円 29年3月期 894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	—	150	△44.4	160	△42.9	150	△44.4	5.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名) アイレックスシステム株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	29,417,400株	29年3月期	29,417,400株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	9,004株	29年3月期	9,079株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	29,408,377株	29年3月期2Q	29,408,657株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業分野である情報サービス業界におきましては、自動車関連、IoT、ビッグデータ、AIなどITの多様化を背景として、堅調に推移しました。また、第5世代移動通信システム(5G)の導入準備が進められ、これによる市場の拡大も期待されております。

このような事業環境下、当社グループでは、強みである組込み系ソフト開発、インフラ構築、IoT領域に注力し、売上高拡大と利益率向上、更には人材の育成を図ってまいりました。

一方、当社は、退職給付債務の算定にあたり、従来簡便法を採用しておりましたが、子会社の吸収合併に伴い、第1四半期連結会計期間より計算方法を原則法に変更しております。この変更により、平成30年3月期第1四半期個別決算及び連結決算において、退職給付費用として105,281千円を売上原価に、16,541千円を販管費及び一般管理費にそれぞれ計上いたしました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,598,267千円(前年同期比0.7%増加)、営業損失41,389千円(前年同期は営業利益67,021千円)、経常損失38,046千円(前年同期は経常利益70,482千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、27,930千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益74,578千円)となりました。

なお、当社グループの事業は、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は1,989,199千円であり、前連結会計年度末の1,899,729千円に比べ、89,469千円増加しています。主な内訳は、現金及び預金149,077千円の増加、受取手形及び売掛金71,912千円の減少及び流動資産のその他27,506千円の減少であります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は1,106,883千円であり、前連結会計年度末の1,005,323千円に比べ、101,559千円増加しています。主な内訳は、支払手形及び買掛金42,014千円の減少、賞与引当金9,973千円の増加及び退職給付に係る負債138,856千円の増加であります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は882,316千円であり、前連結会計年度末の894,406千円に比べ、12,090千円減少しています。これは、その他有価証券評価差額金15,823千円の増加があったものの、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失27,930千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の当四半期及び通期における修正につきましては、平成29年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、個別業績予想の当四半期及び通期における修正につきましてもあわせてご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	884,111	1,033,188
受取手形及び売掛金	529,174	457,261
仕掛品	12,658	24,771
預け金	127,124	151,204
その他	42,913	15,406
流動資産合計	1,595,983	1,681,832
固定資産		
有形固定資産	74,655	73,975
無形固定資産	904	904
投資その他の資産		
投資有価証券	204,048	211,193
その他	26,057	23,211
貸倒引当金	△1,919	△1,919
投資その他の資産合計	228,186	232,486
固定資産合計	303,746	307,367
資産合計	1,899,729	1,989,199
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,910	91,895
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	10,644	3,238
賞与引当金	97,022	106,995
その他	123,233	120,916
流動負債合計	564,810	523,046
固定負債		
関係会社長期借入金	190,000	190,000
役員退職慰労引当金	4,118	4,323
退職給付に係る負債	238,952	377,809
その他	7,441	11,703
固定負債合計	440,513	583,836
負債合計	1,005,323	1,106,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	35,710	35,718
利益剰余金	738,960	711,029
自己株式	△956	△948
株主資本合計	853,713	825,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,692	56,516
その他の包括利益累計額合計	40,692	56,516
純資産合計	894,406	882,316
負債純資産合計	1,899,729	1,989,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,587,634	1,598,267
売上原価	1,319,623	1,418,938
売上総利益	268,011	179,328
販売費及び一般管理費	200,989	220,718
営業利益又は営業損失(△)	67,021	△41,389
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	2,096	2,326
受取賃貸料	2,444	2,166
その他	122	40
営業外収益合計	4,668	4,538
営業外費用		
支払利息	1,207	1,195
営業外費用合計	1,207	1,195
経常利益又は経常損失(△)	70,482	△38,046
特別利益		
投資有価証券売却益	10,857	20,997
特別利益合計	10,857	20,997
特別損失		
投資有価証券売却損	-	131
固定資産除却損	-	68
特別損失合計	-	199
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	81,339	△17,249
法人税等	6,760	10,681
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,578	△27,930
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	74,578	△27,930

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,578	△27,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,032	15,823
その他の包括利益合計	△1,032	15,823
四半期包括利益	73,546	△12,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,546	△12,106
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

前連結会計年度末において、当社の100%子会社であったアイレックスシステム株式会社は、平成29年4月1日付で、当社を存続会社とした吸収合併を行ったことに伴い、消滅いたしました。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当社グループは、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とするシステム事業という単一セグメントであります。会社別の利益分析等は行っておりますが、事業戦略の意思決定、経営資源の配分等は当社グループ全体で行っているため、セグメント情報の開示は省略しております。

(追加情報)

当社は、退職給付債務の算定にあたり、従来簡便法を採用しておりましたが、平成29年4月1日付グループ内組織再編による子会社との合併に伴い、第1四半期連結会計期間より計算方法を原則法に変更しております。

当該事象により、従来と比べ、当第2四半期連結累計期間における退職給付に係る負債が121,822千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は121,822千円減少しております。